



第33回全国街路事業コンクール

会長賞

横浜国際港都建設道路事業1・4・8号 高速横浜環状北西線

横浜市道路局
首都高速道路株式会社

事業概要

本事業は、東名高速道路と第三京浜道路を結ぶ自動車専用道路の整備を行ったものであり、開通により、東名高速道路と横浜港や羽田空港との連絡強化、災害時の道路ネットワークの信頼性向上等が図られた。構想段階からのPI[®]導入や、事業にあわせた沿線のまちづくり等による地域との合意形成、トンネル工事と設備工事の同時施工等の工夫により、事業期間を2年前倒ししての開通を実現した。

表彰理由

首都圏の広域道路ネットワークとして本事業の整備効果は非常に高く、アクセス性の向上や災害時の輸送ルートの多重化など、幅広い効果が発現している。特に、事業手法として、構想段階からPI[®]を適用して、丁寧な住民参加プロセスを経て整備した点が高く評価された。周辺環境に配慮して大部分を地下構造にしており、また、本事業を契機として区画整理やボランティアバスの運行など沿線のまちづくりも活性化された。施工上の工夫や住民の合意形成の促進、事業の積極的なPR等により工期短縮に努め、短時間で重要な幹線道路の整備を実現した優れた事業である。

*PI (パブリック・インボルブメント)：計画の初期段階から、関係する市民等に情報を提供しつつ、広く意見を聴き、それらを計画づくりに反映する手法

事業延長：約7.1km
事業費：約2,589億円

幅員：20m
事業期間：平成24年度～令和3年度（令和元年度開通）